育てるところ

家庭は、①

生命の誕生するところ

②幼い生命を守

n

一緒に絵本を見たりいろいろな物を触ることにより、

由さを克服する心を育むことができます。

に絵本を見たりいろいろな物を触ることにより、目親があぐらで坐り、その膝の中に子供を抱っこし、

ヨクキタ、ヨクキタ」と抱っこしてほめてやり

「ここまでおいで1、

2, 1, 2

の目を育てる

家庭養育に

0

物を上手に見たり、

由に移動したり、一人で身辺の処理を行ったり

触ったりできるまでには、親の肌の

視覚障害教育室研究員

や諸能力の基本を教えるところ ④憩いと安らぎのある

③人間として社会人としての徳性や知

るところと言われています。

のふるさとであるところ ⑤あす

の活動力の

源泉で

目の不自由

要因を具体的にわ かりやすく説明してあげる。 を得る

せるように示してあげることが大切です。 かなステップで、発達を評価しやすくして、 親が指導者を理解できるのは、 2 た状況を見てからだと言ってもよ てもよいでしょう。細子供が具体的に発達し、 自信をもた

あせらずじっくり取り組む

的な視点で育てるよう助言が必要です。 をもちがちです。 供になかなか変化が見られないと、 親に対する共感的態度をもとに、 養育に焦

と教育』学苑社 昭61 | 宮本重雄・鈴木克明編著『障害児の発達



北海道高等聾学校専攻科デザイン科 一年 木原有美子

心と音の動き

平明な形を見て、 音のあるのは、心が動く 平静な気持ちで暮らす

大きな心をこめて 大きな音が響いて踊る

い、張りのある構成で美しく詩でまとめた心象が無駄のな 表現されている。

二 父母の役割分担

ことをするなど父母で役割を分けてお互 着替えなど身辺自立などの内容に関することを受け持ち クな動きを体を使って教えること、腹 お父さんは実際の経験を広めることや大きなダイ ースがみられます。そこで、お母さんは食事、ト のかかわりのバランスが、 うまくとれて から大笑いできる に連携するこ ナミッ

の見させ方 ・移動能力の向

上

・触察能力の の役割分担

向上

いつも肌の温もりを

つも肌の温もりを

が大切です。な家庭の役割に加えて、

する意欲と技能を体得するための土壌ですから、

次の

Ŧī.

つのことを配慮すること

一般的

1な子供にとっての家庭は、視覚障害を克服

の苦痛を伴う訓練は全てお母さん から一つ一つ何度も何度も繰り返して教え込みます。 り視覚と肢体に二重の障害を持つ身になりまし ケンタ君は、二歳のとき二階かのケンタ君のお父さんは遊ばれ のように真 お父さんは、 はケンタ君 気っ白にな こう話してく へのか ら落 か に任せます。 ったケンタには、 り方について話 れまし 私は、 た。 た。 お父 「事

すぐそばに、いつも暖かな親の肌があることは情緒の安

りかけることが大切です。目の不自由な子供の

豊かな心を持たせる基礎になります。家の中や家の

こによって、親の喜怒哀楽を体全体で伝え、

っこすることです。顔

の表情

の分

から

ない子

にた抱

2

肌の温もり

目の不自由な子供に親の思いを伝える最良の方法は、

っている。つまり、私が遊ばれているのですね。」かえ、常に楽しく遊びます。まあ、ケンタに遊んでもらンタの楽しいことだけを一緒にやります。手をかえ品を

上手なものの見させ方

なりました。 で活用させることが大切です。 は、コンタクトレ が、医学の進歩によりかなり改善されるようにっと前までは、重い視覚障害を余儀なくされ クトレンズ、弱視眼鏡などを日常生活の中弱視のお子さんに上手にものを見させるため

◎リカちゃんのコンタクトレンズは四十万円

ちで、私も泣きながらやっていました。今は、リカもレれを行いました。なんとか視力がでるようにと祈る気持ルでしっかり固定し、十五分位かかってレンズの出し入た。幼いころは、痛さと恐怖で泣き叫ぶリカをバスタオれば、リカの視力が伸びないとお医者さんに言われましれば、リカの視力が伸びないとお医者さんに言われまし ンズの出し入れのコッが分かってきたので、 ことに感謝しながらお話しを聞かせてくれました。 に行うだけですみます。 - しています。お母さんは、「コンタクトレンズがなけ、十九ヶ月間で十六枚(一枚二万五千円)のレンズをな生後三ヶ月で先天性白内障の手術を受けたリカちゃん 」と、予想以上に視力が伸びた

エッちゃん、マリちゃん(先天性白の上手にものを見させるための秘訣

マリちゃん(先天性白内障) のお母さん

> 子供を愛して、笑ったり、泣いたり、怒ったり、毎日明に情報を手に入れるなどでしたが、「一番大事なことは合って手伝ってもらう。①いろいろな所に行って積極的一倍、赤ちゃんの時から話しかける。⑥お父さんと話し 育てる るく一生懸命生きることではないですか。 てくれました。 に物を見させるための秘訣を聞きまし ③目を意識的に使わ ズや弱視眼鏡を使う ②普通の子と同じ せる ④一緒に遊ぶ 」と締めくく ように コ **⑤**人 1

◎推定視力について

推定視力=〔○・三×物までの距離(m)〕:物の大き距離と日付を記録しておくとあとあと参考になります。 と便利です。また、見えた物の名前、大きさ、 日常生活の中で視力を推定する場合、次の式を用 形、色、

-13 -

さ (種)

移動能力の向上

います。 触覚)、鼻(嗅覚)、皮膚感覚などで入手し、一つのま とまわりの環境の相互の位置関係を判断しつつ行 、素早い身のこなしができないなど移動能力や運動能 K の不 難点がみられます。目的のある移動や運動は、 環境の情報を、 自 て意味づけが 由な子供は、好きな場所に自 目(視覚)、耳(聴覚)、手(できなければなりません。 由に移動でき われて 自分 です

言葉で意味づ けてやることがとても大切です。 のときからいろいろな事柄や事象につい

立って歩いて不満も解消

や感情もはっきりとしてきました。不満も解消し機嫌のして移動していました。立って歩けるようになり、表情て頭を床につけた三点姿勢で頭をコンパスの軸のようにゃんのお母さんは、「それまでの半年間は、膝を伸ばし になったので、次の段階を目標に親子共々努力していき 良い日が多くなりました。立って歩くことができるよう 六十三年の春に立って歩けるようになりました。ミュキち 未熟児網膜症のミユキちゃんは、二歳七ヶ月になった 」と、喜びと新たな意欲を話してくれました。

触察能力の向上

時から会得することが大切です。旭川盲学校幼稚部の盲さ等)を要領良く知るための自分なりのてだてを、幼い の物の持つ特徴(一便軟、粗滑、木目、形、大きさ、重大切な方法です。ですから、ただ物に触るのでなく、そ触察は、目の不自由な子供が物を物として知るための 児に、点字や立体コピー っている鈴木亘先生に触察能力の向上について聞いて 触りたいという意欲をどう育てるかです。 「盲児に一番大切なのは、上手に触る技術で 教材などにより優れた指導を

> する行 た。 幼児教育の基本かと思いますが、普段から絵本や昔話の と触察意欲や直接体験等の大事さなどを話してくれ 見たりする生活上の体験を多くさせることだと思います。 読み聞か べ物や少々汚い物でも何でも触らせてしまうことです。 きることは自分でさせるようにすることが大切です。食 の遊びを楽しくするとともに、衣服の着脱や食事等、 めてやることです。粘土遊び、砂遊び、紙ちぎりなど を育てるには、 動や探そうとする行 せを豊富に行い、実際の場面や実物に触れたり、 いつも目を注いで、 動が ちょっとでも見られたら 自分から触ろうと まし





ん?えだまめか

(旭川盲学校)